



チーム身延

学校の理念：「すべての子どもに笑顔があふれる学校をつくる」

身延町立身延小学校
Tel 0556-62-0066
Fax 0556-62-0368

一人ひとりが輝き みんなで心一つに!

文責 校長 穂坂洋紀

9月30日(土)に実施した運動会は素晴らしい成果を収め、成功裏に終わることができました。

始まる前に突然の雨に見舞われ、開会式の隊形を変更しながらの幕開けでした。不安に思いながら続行しましたが、その後、種目に入るときには曇り空に変わり、お昼ごろには「暑さ」を感じるくらいになりました。予定通り実施できたことにほっとしています。



今年はコロナが5類になり参観制限をなくしたことで、より多くの方々に

お越しいただくことができました。子どもたちの生き生きとした姿をたくさんの方に見ていただくことができたことを本当にうれしく思います。



子どもたちは、みなさまに見守られ注目されながら、赤組、白組、青組に分かれて対抗競技をしたり、低学年・中学年・高学年ブロックに分かれて表現活動をしたりしました。

対抗競技では、どの種目も接戦に次ぐ接戦でした。最後の結果発表で、すべての組が同点だったことには本当に驚かされました。3組同時優勝になることを誰が予想したでしょうか。

表現活動では、低学年はダンス、中学年はフラッグ、高学年は演舞、ダンス、組み立てを合わせた演技を披露しました。どの表現活動も、残暑厳しい中で練習を積み重ねてきた成果が出ていました。各学年ブロックにおいて高いレベルを追求した素晴らしい演技でした。

今年最後の運動会となった6年生は、特別委員会のリーダーとして、準備から本番まで、今までの経験を生かしながら精一杯取り組んでいました。その6年生を中心に4年生以上の子ども達が、委員会の役割ごとに自覚をもって自主的に準備や運営に携わったことで、よりスピーディに、よりスムーズに運動会を進めることができました。



今年のテーマは「信じ抜け 自分の力を 試すとき」でしたが、それを実現するために、本番の競技・演技の中で、すべての子どもたちが、これまでの努力を信じ、練習の成果を全力で発揮しようとしていた姿に心を打たれました。それは、今年行われてきた野球のWBCやワールドカップのバスケットボール、バレーボールやラグビー、さらにはアジア大会の各競技など、国際大会での日本を含む世界中のアスリート達が一生懸命に競技する姿に勝るとも劣らないもので、懸命な表情や身体表現に勇気と感動をもらいました。



本番を含めた取り組み期間の中で、みんなで支え合い協力し合いながら一生懸命に取り組んだことで、また一段とたくましさが増したと実感しました。

今年から保護者と一緒に子どもたちは帰ることになりましたが、お家の方と下校する子どもたちが「さようなら」というあいさつとともに見せてくれ

た笑顔から、子どもたちの達成感や満足感が伝わってきました。

保護者のみなさまにも、運動会終了後、たくさんの方々に力を貸していただきました。おかげさまで片付けを短時間のうちに終了することができました。当日までの児童の健康管理を含め、本当にありがとうございました。

実りある運動会が円滑に実施できましたことに感謝申し上げます。

今後とも、本校の教育活動に、ご支援ご協力をお願いいたします。

「楽(らく)は楽(たの)しさにつながらない!」

10月13日(金)に実施した全校集会の時間に漢字の話をしました。そのときの内容を紹介します。

「楽」は何と読むでしょうか。「楽(たの)しい」もう一つは「楽(らく)」ですね。

同じ漢字ですが、読み方が違います。

みなさんは、この写真の中の選手の顔(表情)【様子】を見て、選手はどんな気持ちだと思いますか。慶応高校野球部の合い言葉は「エンジョイベースボール」、日本語で言うと「楽しい野球」だそうです。



ところで、みなさん、運動会をがんばりましたね。

運動会は「楽しかった」ですか。それとも、運動会は「楽(らく)」でしたか。本番が近づいてきたときはどうでしたか。練習の時はどうでしたか。ちょっとつらくなったことはありませんでしたか。

運動会も、精一杯、全力を出せたから、みんな「楽しい」と言っているのだと思います。でもそのとき、精一杯、全力を出すことは、決して「楽」なことではないでしょう。練習も、そして、本番も「楽」をしていたら「楽しく」ないと思いますよ。

みなさん、今までの運動会、今回の運動会を思い出して、どうだったでしょうか。

人というのは、何かと「楽」がしたいと思ってしまいます。でも、「楽」することは、「楽しい」ことにつながるでしょうか。勉強はわかると楽しいし、スポーツで勝ったり、演技が立派にできたり、芸術で満足できる作品が仕上がることは楽しいですね。勉強がわかるために、勉強だけでなく、いろいろなことで、満足いく結果を残すために、人はみんな、努力をしています。

慶応高校は、全国の3549チームの中の1番。そんなチームが努力もしないで、ただ楽をして優勝することができるでしょうか。

人の前では笑っていても、これまでどれだけ努力をしてきたことでしょうか。

みんなだって、勉強の時もそうだけど、スポ少や習い事、その他、もっと言うと、趣味やゲームでも、満足した結果が出たときには楽しいと思えると思います。そう思えるときに、楽(らく)していますか。

思い出して下さい。みなさんがやっている野球やソフトボール、サッカーや柔道、空手、体操、水泳、陸上ローラースケート、ピアノや習字、英会話や美術なども、満足だなあと思えるときに楽(らく)していますか。

ここまで言ってきて、もうわかってくれたと思います。

「楽(らく)は楽(たの)しさにつながらない!」ということ。

運動会を成功させようと、みなさんは一生懸命にがんばっていました!努力していました。だからこそ、きっと実感できることだと思います。

「楽しさ」は、結果的に「満足」や「充実」、「やってよかった」という思いの表れなのだと私は思っています。

運動会が終わってからも、学校だけでなく日頃の生活の中でも、みなさんが、ますます「楽しく」過ごしていけることを期待しています。

そして、みなさんを、これからも応援しています。

